

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム実夢大覚寺

目標達成計画

作成日: 平成31年 3月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	昨年課題とした風水害マニュアルはスタンダード版までは作成したが、地域のハザードマップを鑑みたオリジナルは未着手である。	地域と事業所の状況、情報を組入れた風水害マニュアルを作る。	法人のMQM(メディカル・クオリティ・マネジメント)の防災担当から直接指導を仰げる強みも活かし、また運営推進会議でも助言を求め、進めてゆく。	8ヶ月
2	2	園児、生徒との異世代交流が少ない。	異世代交流の機会をつくり、利用者の楽しみを増やす。	地域の小学校、中学校へ挨拶廻りをするか、母体病院が築いた関係から学校を紹介してもらう。	6ヶ月
3	43	排泄については便秘が最大の課題である。	便秘における一人ひとりに合った対策を備えていく。	便秘は人それぞれのため、ご飯にシラタキを混ぜたり、オリゴ糖などあらゆるものにチャレンジしてゆく。	12ヶ月
4	52	せっかくの賞状や作品の貼り方が粗く、また画鋏も心配される。	賞状や作品は1枚のボードに収めるか、ピクチャーレールを取り付け、美化につなげる。	購入計画をたて、予算に組込む。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。